

漁海況情報第1報 (2018年4月23日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

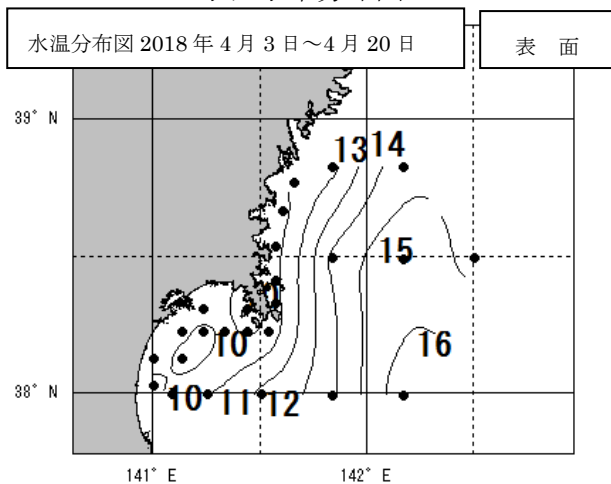
親潮が宮城県沿岸を退き、北上暖水により沿岸水温が極めて高くなっています。

宮城県沿岸の表面水温は9～16℃台、100m深水温は8～13℃台となっています。仙台湾内の水温は平年より1～2℃高め、沿岸域では北上暖水の強い波及により表層で最大9℃、水深100mで最大7℃、平年より高くなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。水温鉛直断面図からは、100m以浅の表層を10℃以上の水が覆っているのが見て取れます。[P2.水温鉛直断面図]。

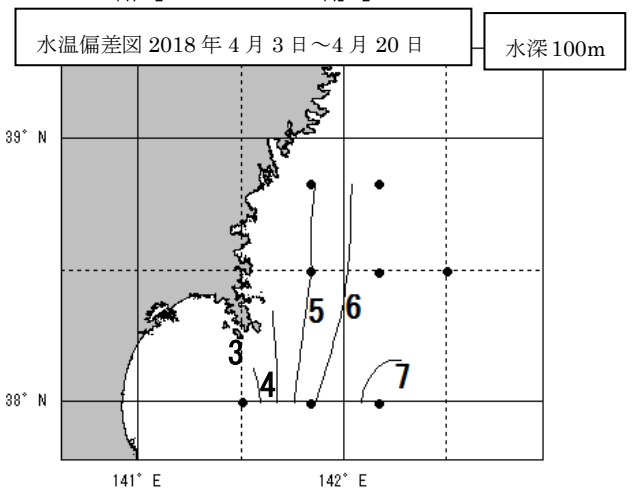
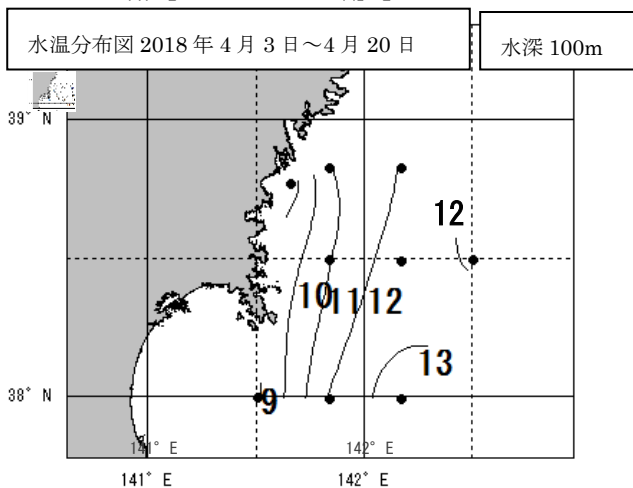
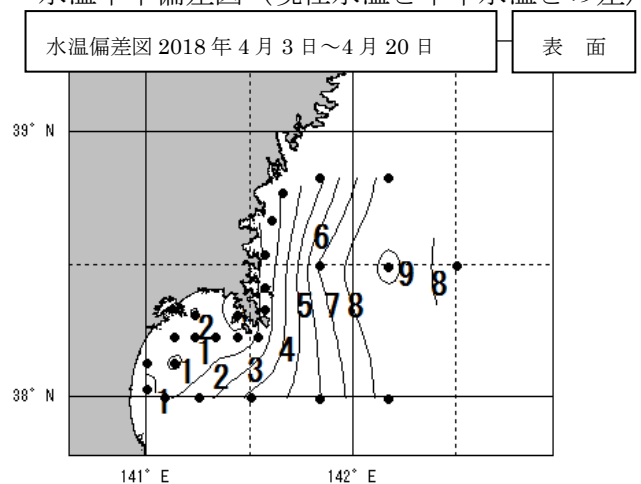
(一社)漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は沿岸から退いて144°E付近を久慈沖まで南下しています。144°E以西の茨城～宮城沖を暖水が北上しています [P2.東北海域の海況図：(一社)漁業情報サービスセンター]。

4月中旬の定地水温は10～11℃台となっています。気仙沼・歌津・江島で極めて高め、田代島と佐須浜でやや高め、桂島と亶理で平年並みと、北側の測点で高水温となる傾向が見られます。海底直上水温は7～9℃台で、昨年より高めです。 [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

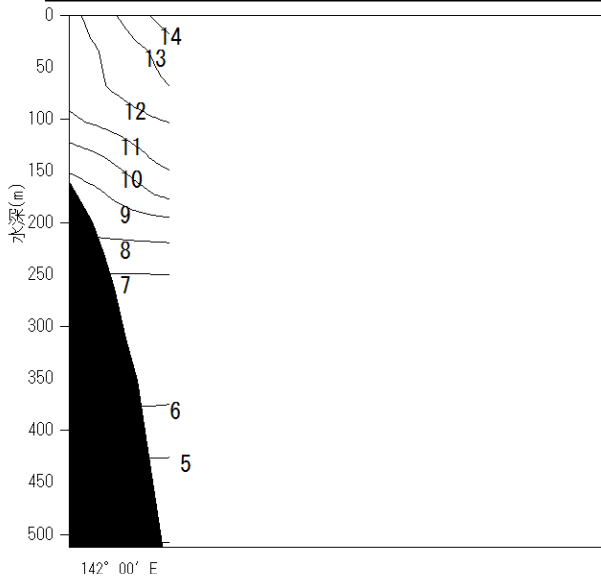


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

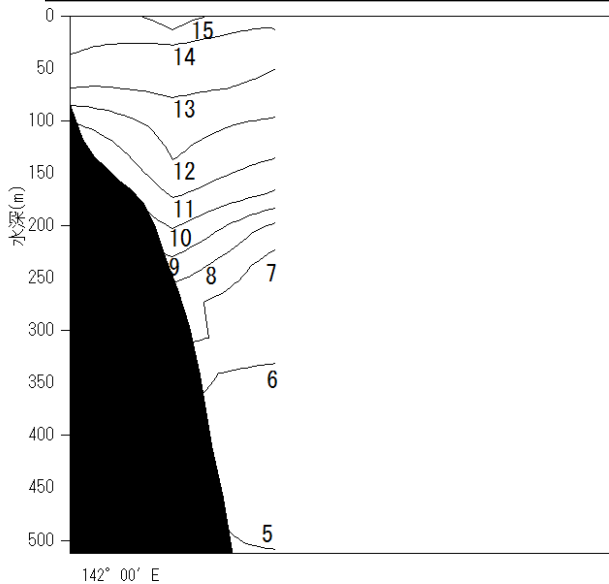


・水温鉛直断面図

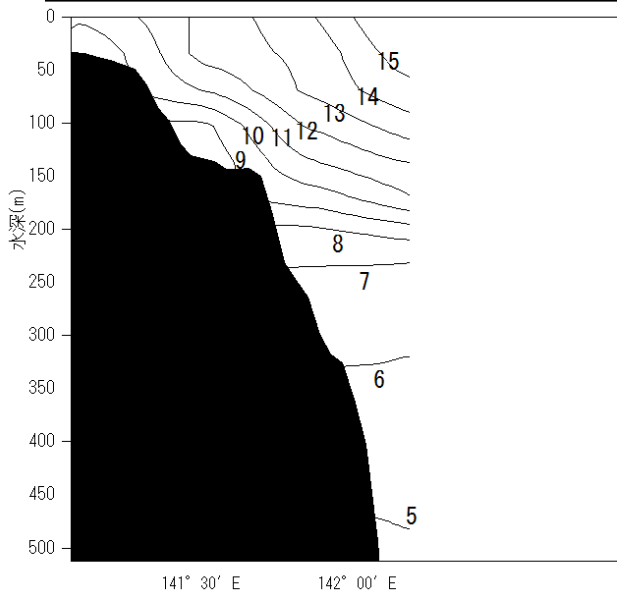
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

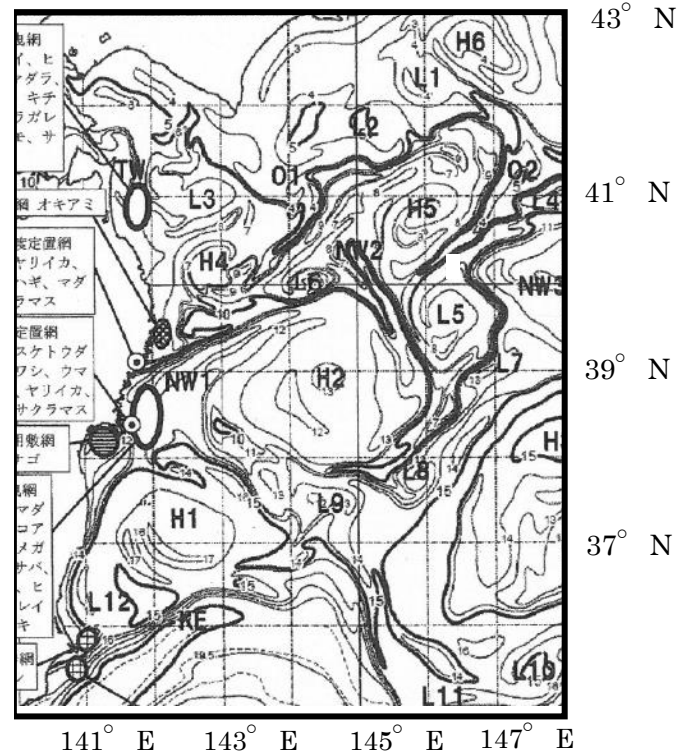


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2018年4月19日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

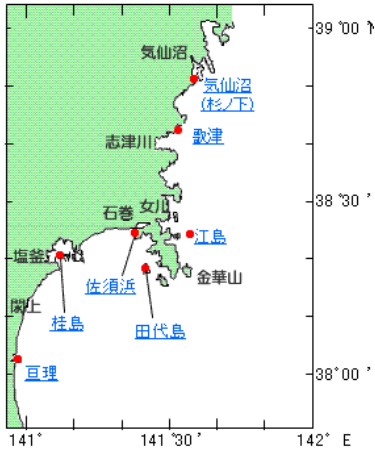
【海況】(4月19日表面水温)

- ・親潮第一分枝は沿岸から退いて144° E付近を久慈沖まで南下。
- ・津軽暖流が下北～三陸北部を南下, 岩手沿岸は7°C台に昇温。
- ・黒潮は伊豆諸島周辺を北上し房総沖を東進。
- ・13～17°C台の暖水が茨城～宮城沖144° E以西を岸よりに北上。
- ・茨城～福島では15°C台の暖水が5～10海里に接近し沿岸は13°C台。
- ・宮城沿岸も13°C以上の暖水が接近し11°C台に昇温, 仙台湾北部は10°C台を維持。

【漁況】(4月17～19日)

- ・まき網: 犬吠埼沖で1夜操業, マイワシ3,700トンなど漁獲。
- ・定置網: 石巻はマサバ大中型魚, ウマヅラハギやサワラが増加。大船渡はマサバ・ヤリイカ・ウマヅラハギなど水揚。
- ・仙台湾コウナゴ2夜操業, 計224トン水揚。主漁場は仙台湾沖。
- ・三陸オキアミ: 岩手は釜石沖などで操業, 水揚やや減少。
- ・カツオ竿釣: 三宅島付近でカツオを漁獲。
- ・カツオ・マグロまき網: 八丈島近くでカツオ・マグロ・キハダを漁獲。

・定地海洋観測



	4月中旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	11.2	極めて高め	2.8	1.5
歌津	11.2	極めて高め	3.0	1.4
江島	11.2	極めて高め	2.9	2.0
田代島	10.3	やや高め	1.0	0.8
佐須浜	10.8	やや高め	0.8	0.7
桂島	11.2	平年並み	0.1	-0.2
巨理	11.3	平年並み	0.5	-

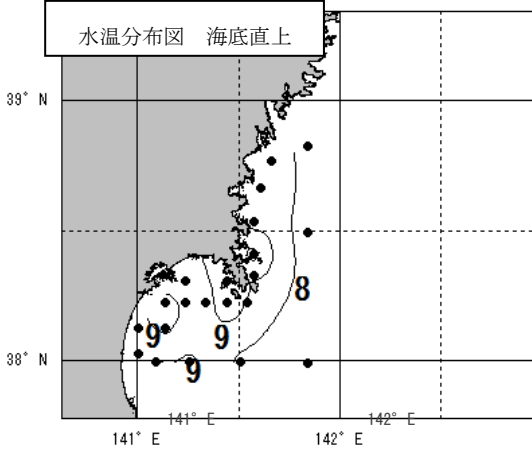
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

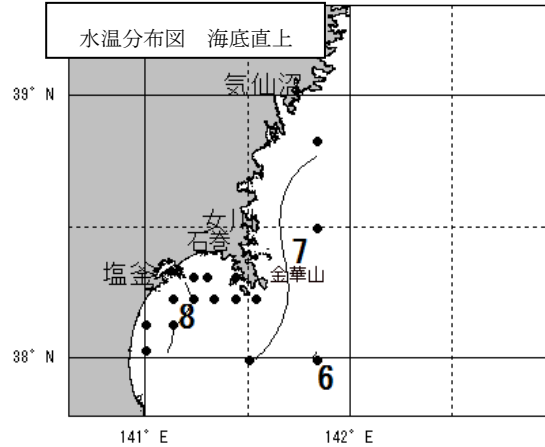
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年4月3日~4月20日)



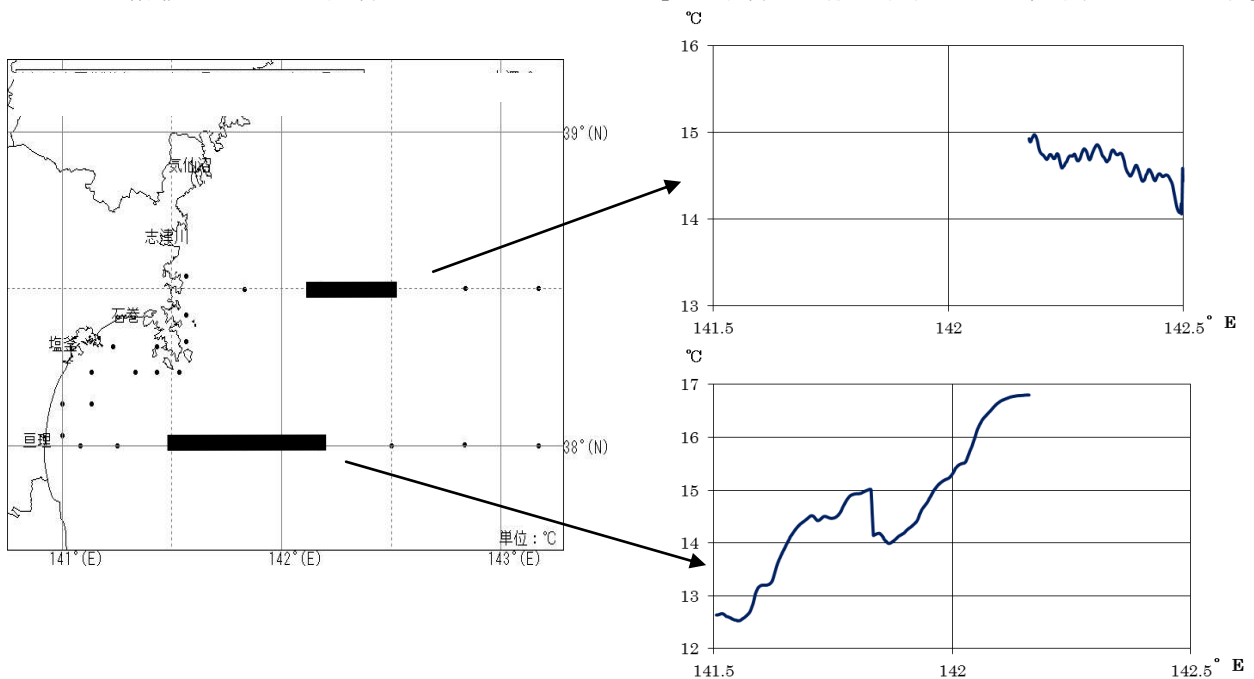
・海底直上水温(2017年4月5日~21日)



(※観測水深は500mまでです)

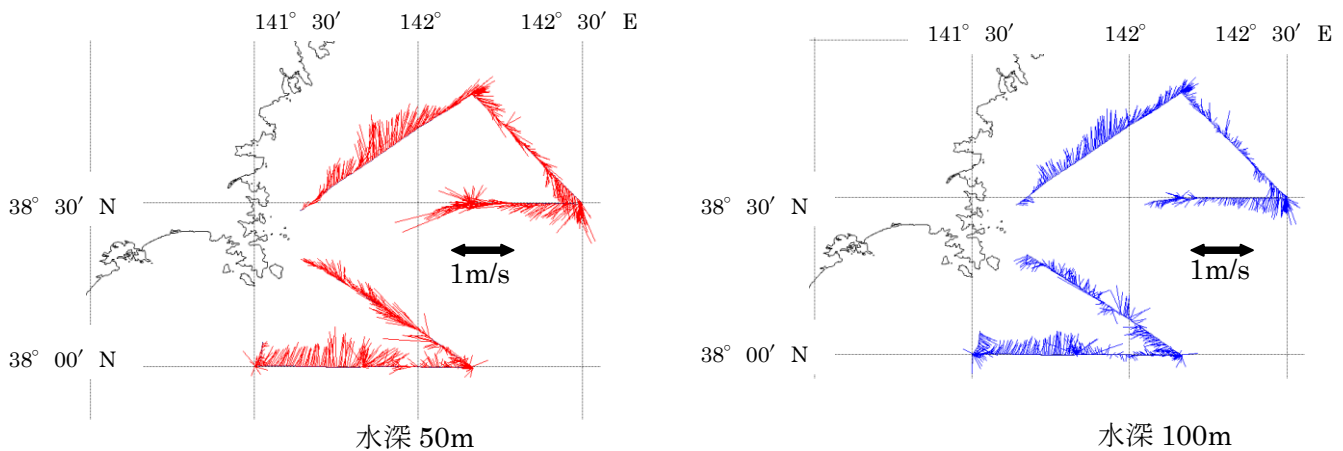
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。142° E 以西で北向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、ヤリイカ、メバチ、キチジ、ババガレイ、マイワシなどが水揚げを伸ばしています。一方でビンナガ、サバ類、タラ類、マコガレイ、マガレイ等の水揚げは減少しています。(単位：トン)

2018年3月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									235		8	243	60%
メバチ									84		7	92	141%
サバ類	375	4	1355			0					0	1735	44%
マダラ	211	19	0			15	6		0		6	259	79%
スケトウダラ	430	22	0			14	0				1	467	60%
キチジ	44										0	45	131%
ヒラメ	13	2	0			0	1				1	17	91%
マコガレイ	1	4	0			0	12				3	21	43%
マガレイ		2	0			0	1				0	3	42%
サメガレイ	32	0					0				1	33	118%
ババガレイ	63	1	0			0	2				8	74	206%
マイワシ	0	0	0			1098					0	1098	128%
カタクチイワシ							3					3	前年水揚げ極小
ヤリイカ	39	3	0			1					0	43	744%

5. 調査船運航計画

みやしお	
4月26日	餌料環境調査
開洋	
4月23日	刺網調査